



創立 40 周年記念研修旅行 三内丸山遺跡にて

# まちのサークル

VOL 4

町の歴史を  
後世に伝える

## 国見町郷土史研究会

### プロフィール

- ・代表者 小川 恵見
- ・主な活動内容 総会、研修旅行、講演会  
文化祭展示  
会報（郷土の研究）発行
- ・団員数 214 名
- ・会費 2,500 円 / 年
- ・問い合わせ 内池育男 ☎ 585-3320

今から約40年前の昭和45年、「国見町史」の編纂が企画され、旧町村の代表者や識見者が集まりました。この時のメンバーが中心となり翌昭和46年に発足したのが、今回紹介する国見町郷土史研究会です。

国見町郷土史研究会では、みんなで仲良く郷土のことを知ろうということをもっとに活動しています。そして、活動にあたっては、地元の郷土史研究家菊池利雄さんが指導にあたり、多くの会員が自分なりに郷土のことを研究しています。会の主な活動は、プロ

フィールに示したとおりで、中でも大きなものが発足当時から発行し続けている会報「郷土の研究」の執筆、編集作業です。「文化祭が終わると、年度末の発行に向けて会員から様々な郷土に関する研究の原稿を集め、会報を編集する作業に入ります。しかし、年々原稿を出してくる会員が減っているのが現状です。題材を難しく考えてしまっているのではないだろうか」。庶務の内池育男さんは、率直な感想を話しました。

そして内池さんは、「郷土の研究とは、古いものだけをとらえる必要は無いと思います。今のことも何年か後に気づけば、重要な歴史の一つとなります。今のことを記録としてきちんと残していくことも大切なことです」と、郷土の研究について、無限の可能性があることも話しました。

国見町郷土史研究会があり、会員がさまざまな研究をしてきたことにより、国見町は、歴史のまちとして広く知れ渡っているのです。

阿津賀志山ビッグツリー  
(12月23日点灯式で打ち上げられた花火)



### 小さな天才たち 大木戸小学校



「ゆめのくまさん」  
松田駿太郎(3年)



「なぞのUFO」  
岡田 裕貴(3年)



「月明かりがきれいな森の中へ」  
阿部 美咲(4年)



「巨大えびと海へたんけんだー」  
松浦 諭(4年)

### あ と が き

まちの皆さんに聞いた「こんな年にしたい」という内容。突然のお願いにもかかわらず、皆さんそれぞれに自分自身の考えを言葉で表現していただきました。さて私自身はというと、「1人でも多くの皆さんにすみずみまで読んでもらえるような広報紙を作る」というのが今年の抱負です。(A.S)



この印刷物は、「大豆油インキ」を使用して印刷したものです。



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15 国見町観月台文化センター内 国見町役場（仮庁舎）

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181 E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/